

○テイクオフ

- ・兎平テイクオフとする。
- ・テイクオフはフリーテイクオフとする。
- ・他の選手のセットアップに積極的に協力すること。
- ・前にセッティングしたが、しばらく出ない場合は、後ろの人に譲ること。

○ランディング

- ・ランディングはスクール前ランディングとする。
- ・指定ランディング以外に降りた場合はそのフライトは失格とする。 同時進入にならないように早めに他機との高度調整をすること。
- ・国土ランディングには降りないこと。(低空での飛行も禁止)

○警告

- ・大会期間中の危険行為、大会の妨害に対しては大会失格とする場合がある。

○大会の成立

- ・参加人数と同数のフライト本数、またはゲートオープンをしていた時間が参加人数×3分を超えた時をもって大会成立とする。
 - ・原則として次の場合、競技を中断または中止する。 風速が毎秒6mを超える場合 テイクオフよりランディングが視認できない場合 その他、競技委員長が危険と判断した場合。

○抗議異議

- ・集計ミス以外は受け付けません。

○その他

- ・リフト、電線等を越える場合は高度に十分注意すること。

○競技

- ・タスクは指定パイロンレースとする。(状況により変更されます)

○パイロン

- ・設定された指定パイロンを周回する。
- ・指定パイロンのシリンダー内をフライトすることによりパイロンポイントを取得する。 シリンダー半径は200m(七北田ダムは400m) TOのパイロンは、シリンダー外に一旦出てから入った場合のみポイントとなる。
- ・各自が自身で申告したGPSログで判断する。
- ・パイロンポイントが同点の場合、テイクオフ時間が早い選手を上位とする。
- ・テイクオフ時間も同時の場合、ランディング時間が早い選手を上位とする。

○リフライト

- ・リフライトした場合、前のフライトは無効とする。

○判定

- ・判定は GPS のトラックログか、カメラ撮影による。
 - ・カメラの場合は、TO を望む方向からパイロンを撮影すること。
 - ・カメラの場合は、時刻表示の設定とし TO、LD 時にも撮影すること。

○申告

- ・帰着申告は必ず行うこと。
- ・選手自身が最終フライト1本を、申告用紙とGPSと一緒に提出する。 申告用紙には、取得パイロン、TO時刻、LD時刻を記載のこと。

○得点計算

- ・申告用紙に基づいて判定する。
- ・申告したフライト1本での判定とする。

○その他

- ・泉ヶ岳スカイランドエアリアルールに従うこと。
- ・競技規定に記載されていないことについては競技委員長の判断による。
- ・天候により別競技を行う場合もある。
- ・フリーフライトは申告用紙の提出後に行うこと。